



平成 22 年 2 月 25 日

各 位

会社名 旭松食品株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木下 博隆  
(コード 2911 大証第 2 部)  
問合せ先 執行役員経理部長 足立 恵  
(TEL. 06-6306-4121)

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりましたのでお知らせするとともに、平成 21 年 5 月 14 日に公表しました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生及びその理由

平成 22 年 1 月 28 日に公表しました当社埼玉工場閉鎖により、固定資産の減損損失及び従業員退職に伴う一時費用を主体に特別損失として 60 百万円発生する見込みです。

#### 2. 平成 22 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,000	80	80	20	円 銭 2.18
今 回 修 正 予 想 (B)	17,000	△140	△160	△250	△27.28
増 減 額 (B-A)	△1,000	△220	△240	△270	
増 減 率 (%)	△5.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	18,034	△674	△674	△2,135	△232.90

#### 3. 修正の理由

売上高につきましては、納豆部門は低価格競争が継続しており、市場の縮小傾向も続き当初の予想を下回る見込みです。加工食品部門は、第 2 四半期まで好調に推移していましたが、第 3 四半期以降、競争激化による低価格化が顕著となり、需要も減少していることから、予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、売上高の減少に伴う減益と、原価低減施策のずれ込みにより営業利益、経常利益とも予想を下回る見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上